

巻頭言

平成 26 年度スタート



会長 中前 和則

梅雨の晴れ間には太陽のありがたみがしみじみ感じられます。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

本年度は、新入会員が 85 名入会され、1000 名を超える組織となりました。新入会員の皆様、晴れて理学療法士となりお祝い申し上げます。これからの皆様の理学療法士としての発展を祈念するとともに、当協会活動への積極的な参加を期待いたします。

さて、平成 26 年度定期総会が 5 月 25 日（日）に開催され全ての議案について承認されました。同時に開催されました役員選挙におきまして、15 名の理事が選出されました。また、私が引き続き会長を務めさせていただくことになりましたのでよろしくお願い申し上げます。

副会長には、林積司先生（辻秀輝整形外科）、上西啓裕先生（和歌山県立医科大学附属病院）、吉富俊行先生（日赤和歌山医療センター）をお願いすることになりました。

また、組織の拡大と地域包括ケアシステム推進への対応として、紀北地域局を紀北局と和歌山市局に分け、更に和歌山市局を地域包括圏域と会員数を鑑み 3 ブロックに分けました。和歌山市局が細分化され、紀北地域局も和歌山市と切り離すことにより、よりネットワークを軽くして活発に活動していただくことを期待しています。

理学療法士が、希少の時代から数の時代に急激に変化するこの業界を守り発展させていくためには、組織を細分化し、一人でも多くの会員の方々に役割を担っていただき、組織力を強化していくことが重要と考えています。職域が競合する他の職種に負けないためには、一人一人の会員の皆様の協力が必要です。ご協力の程、よろしくお願い致します。

地域包括ケアシステム推進に向けて

先日、6 月 8 日（日）に公益社団法人日本理学療法士協会の定期総会が東京で開催され、代議員の先生方とともに参加して参りました。

その中で半田会長の言葉にもありましたが、「これからは地方の時代です。」日本理学療法士協会と都道府県士会の役割分担が重要です。

国の方針としては、2025 年に備えた地域包括ケアシステムの推進が課題であり、これは私たちにとって大きなチャンスであり、ピンチでもあります。しっかりと、前を見据えて進んでいかなければ立ち遅れてしまいます。

日本理学療法士協会では、地域包括ケアシステム推進対策本部を設置し、推進に向けて取り組んでおり、私もその一員として参加しています。日本理学療法士協会では、地域で活躍できる人材育成として推進リーダーのモデル研修が開催され、当県士会からは、他府県よりも多くの人材を派遣し和歌山県下での開催を準備しています。

近々地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダーの認証研修を開始いたしますので、ふるってご参加ください。

私たちの力で、和歌山県の地域包括ケアシステムを推進していきましょう。

会員の皆様の、ご支援とご協力をお願いいたします。

理事会 報告

■平成 25 年度第 7 回理事会議事録■

日 時：平成 26 年 3 月 15 日（土）15:00～16:10

場 所：和歌山ビッグ愛 12 階 協会事務所

開会の辞（事務局長：森本）

出席理事：中前 和則、林 積司、上西 啓裕、森本 昌信、前 裕充、岩崎 正和、松井 有史、須賀 和明、池田 吉邦
南 和幸、有馬 聡、西川 典男

出席監事：川村 是安

委任状：吉富 俊行（理事）、安井 常正（理事）、浦 正行（監事）

議 長：中前和則

議 案

第 1 号議案

平成 26 年度協会事業計画案について

1) 協会事業計画案について

事務局長森本より資料にそって説明

2) 各局事業計画案について

各局担当理事より資料にそって説明

議長は協会事業計画案ならびに各局事業計画案について出席者に質疑を諮ったところ質疑等は無かった。

議長は協会事業計画案ならびに各局事業計画案について出席者に承認を諮ったところ満場一致で承認された。

第 2 号議案

平成 25 年度協会事業予算案（前）

年間の事業予算案を総会資料にそって説明

議長は協会事業予算案について出席者に質疑を諮ったところ質疑等は無かった。

議長は協会事業予算案について出席者に承認を諮ったところ満場一致で承認された。

第 3 号議案

資金調達及び設備投資の見込みについて（森本）

現状では 10 万円以上の購入の予定はない。

但しパソコン等必要な備品購入は、使用状況をみて随時買い換える可能性あり（10 万円以下）

議長は資金調達及び設備投資について出席者に質疑を諮ったところ質疑等は無かった。

議長は資金調達及び設備投資について出席者に承認を諮ったところ満場一致で承認された。

その他 議長は出席者に議案がないか問うが無かった。

閉会

■平成 26 年度第 1 回理事会議事録■

日 時：平成 26 年 4 月 26 日（土）15:30～19:00

場 所：和歌山ビッグ愛 12 階 協会事務所

参加者：13 名

（理事）中前、林、上西、森本、前、松井、須賀、池田、南、吉富、安井、辻中（代理）

（監事）川村

（書記）坂本

議事録署名人：中前、川村

委任状：岩崎、西川、浦

会長挨拶：総会が 5 月 25 日に予定しています。25 年度事業報告を会員に承認いただくことになります。

今年度は地域包括ケアシステムを積極的に推進していく予定ですので、ご協力をお願い致します。

議 案：

1. 各局からの報告

1) 事務局：別紙資料に添い報告→承認

- ①入会申請 8 名、復会申請 3 名について→承認
- ②4 月 22 日現在 会員数 962 名。退会・新規休会申請が増えてきている。
- ③所在不明会員が増加している。
- ④総務部・庶務部・会員管理部で使用中のパソコンの買い換えについて→承認
- ⑤第 2 回理事会は 6 月 21 日（土）開催予定とする。
- ⑥9 月 20 日（土）開催予定の理事会を 9 月 13 日（土）に変更

2) 学術局：別紙資料に添い報告→承認

- ①会計監査指摘事項について→承認
- ②管理運用部のパソコン買い換えについて→承認
- ③平成 26 年 9 月 7 日（日）平成 26 年度理学療法専門研修会は「白浜はまゆう病院」での開催が困難であれば「成華苑」での開催を検討する。

3) 福祉・保健局：別紙資料に添い報告→承認

- ①「訪問リハビリテーション地域リーダー会議及び訪問リハビリテーションフォーラム参加」について
→ 岩崎理事、林元光広氏を推薦→承認
 - ・地域包括ケアシステムを推進していく事も踏まえ、1 名 5 万円、2 名分 10 万円を充当する。
- ②「地域包括ケア推進リーダーモデル導入研修」は岩崎理事、林元光広氏出席
「介護予防推進リーダーモデル導入研修」は松井理事・岩崎理事出席→承認
 - ・申込予定者を承認し、研修受講後会員に対して報告を行う。
 - ・申し込み（大阪会場）に余裕があれば増員を検討する。
- ③「理学療法週間 介護予防推進キャンペーン 全国統一イベント開催」について→承認
 - ・計画案を承認
 - ・社会局での研修会（山根一人 日理協理事 の講演）予定日と重なっているため、日程変更または延期を検討する。
 - ・イベント開催について、広報局にて新聞等での広報をして頂きたい。
- ④「地域包括ケア推進部を新規創設」について→承認
 - ・部長に林元先生（訪問看護ステーションはやしもと）を提案

4) 社会局：別紙資料に添い報告→承認

- ①平成 26 年 7 月 13 日（日）開催予定の施設・理学療法士長研修会は日程調整困難な為、開催を再度検討する。

5) 厚生局：別紙資料に添い報告→承認

6) 広報局：別紙資料に添い報告→承認

- ①ホームページ更新について
 - ・カレンダー機能への予定書き込み項目については、各局にて事業の大小に関わらず入力する。
 - ・字体を一部ゴシック体に変更し見やすくする。
 - ・各局で事業を開催した場合は、文章での報告と共に写真を貼付して頂きたい。

7) 紀北地域局：口頭にて報告→承認

8) 中紀地域局：別紙資料に添い森本事務局長より報告→承認

9) 紀南地域局：別紙資料に添い報告→承認

10) 財務局：別紙資料に添い報告→承認

提案議題

- ①会費未納者に対する協会事業への参加制限について
 - ・今年度の会費未納者への制限は 1 ヶ月後の 7 月 1 日からとする。→承認
 - 新入会員についても制限は 1 ヶ月後の 7 月 1 日からとする。→承認
 - ・制限については協会事業全てにおいて研修会・事業参加不可能とする。→承認

②夫婦会員の会費減額について

- ・会費納入が5月27日の引き落としなので、この日より3ヶ月以内の申請に限る。→承認
- ・年度途中で夫婦となった場合はその日より2ヶ月以内の申請とする。→承認
年度途中で申請のあった場合は当該年度の会費の半分の返金について検討する。
- ・楽天カードでの納入を推奨している部分から、対象者を楽天カード及び自動引き落とし者に限定→承認
前理事より、夫婦会員減額規程の改訂案の提示をしていただく。
- ・各局事業への協力会員に対する日当は一律1日5,000円とする。
別途規程に基づいて交通費・宿泊費・食費を支給する。

2. その他

1) 地域医療再生事業補助金申請（リハビリ専門職種に対する在宅リハ研修等推進事業）について→承認

①理学療法士協会として8事業を計画、作業療法士会から3事業を提示

②和歌山県理学療法士協会が企画した8事業計画案を具体的に事業展開できるよう検討する。

2) 地域包括ケアシステムを推進していく上で、理学療法士も介護支援専門員の資格取得を推進する必要があると考えるので、福祉保健局で会員での資格取得者数の調査を依頼。実態把握した上で、会員に対し資格取得を促していきたい。→承認

■平成26年度第2回理事会議事録■

日 時：平成26年5月10日（土）15:30～16:30

場 所：和歌山ビッグ愛 12階 協会事務所

開会の辞（事務局長：森本）

出席理事：中前 和則、林 積司、上西 啓裕、森本 昌信、前 裕充、岩崎 正和、松井 有史、須賀 和明、池田 吉邦
南 和幸、吉富 俊行、西川 典男、安井 常正

出席監事：川村 是安、浦 正行

選挙管理委員長：中畑雅行

議事録作成者：森本 昌信

議 長：中前 和則

議 案

第1号議案

役員（理事）選挙について

選挙管理委員長より立候補13名で定款第23条により無投票当選となる報告あり。

会員数の増加に伴い、地域局を現行の3局から4局にすることを検討

辻中清晃氏（和歌山労災病院）、永金宣秀氏（公立那賀病院）の2名を理事会推薦することを中前より提案

議長は2名を理事会推薦することについて出席者に質疑を諮ったところ質疑等は無かった。

議長は出席者に承認を諮ったところ満場一致で承認された。

辻中、永金の両名に連絡し承諾を得る。

第2号議案

選挙管理委員の選出について

現行の中畑雅行氏、原野晶氏、山崎陽平氏の3名を次期委員として選出することを中前より提案

議長は選挙管理委員の選出について出席者に質疑を諮ったところ質疑等は無かった。

議長は出席者に承認を諮ったところ満場一致で承認された。

第3号議案

その他 議長は出席者に議案がないか問うが無かった。

閉会

■公益社団法人和歌山県理学療法士協会 平成 26 年度定期総会議事録■

日 時：平成 26 年 5 月 25 日（日） 10:40～11:40

場 所：和歌山県立医科大学 講堂

開会の辞（事務局長：森本）

定足数：出席者数 142 名、委任状 634 名：合計 776 名

現会員数（5 月 23 日現在）1,029 名、規定定足数の 1/2（515 名）を超え総会成立

会長挨拶：中前会長より挨拶

議長団の選出（執行部に一任の声あり、執行部より選出）

議 長 1 名：赤澤 直紀（河西田村病院）

副 議 長 1 名：井上 誠（きのしたクリニック）

書 記 2 名：坂本 善朗（琴の浦リハビリテーションセンター）

増田 将也（琴の浦リハビリテーションセンター）

議 案

第 1 号議案

平成 25 年度協会事業報告

1) 協会事業報告および事務局事業報告（森本）

総会資料にそって説明

2) 学術局事業報告（上西）

総会資料にそって説明

3) 福祉・保健局事業報告（松井）

総会資料にそって説明

4) 社会局事業報告（池田）

総会資料にそって説明

5) 厚生局事業報告（南）

総会資料にそって説明

6) 広報局事業報告（吉富）

総会資料にそって説明

7) 紀北地域局事業報告（有馬：代理 辻中）

総会資料にそって説明

8) 中紀地域局事業報告（西川）

総会資料にそって説明

9) 紀南地域局事業報告（安井）

総会資料にそって説明

10) 代議員報告（林）

総会資料にそって説明

11) 災害対策特別委員会報告（松井）

総会資料にそって説明

12) 紀の国わかやま国体支援特別委員会報告（林）

総会資料にそって説明

議長は協会事業報告ならびに各局事業報告について出席者に質疑を諮ったところ質疑等は無かった。

議長は協会事業報告ならびに各局事業報告について出席者に承認を諮ったところ満場一致で承認された。

第 2 号議案

平成 25 年度協会決算報告（前）

事業決算を総会資料にそって説明

議長は協会事業決算について出席者に質疑を諮ったところ質疑等は無かった。

議長は協会事業決算について出席者に承認を諮ったところ満場一致で承認された。

第 3 号議案

平成 25 年度事業・決算監査報告（浦）

事業監査結果を総会資料にそって説明

議長は協会事業監査結果について出席者に質疑を諮ったところ質疑等は無かった。
議長は協会事業監査結果について出席者に承認を諮ったところ満場一致で承認された。

第4号議案

選挙管理委員の選出について（森本）

理事会において中畑雅行、原野 晶、山崎陽平氏を選出したことを報告
議長は出席者に承認を諮ったところ満場一致で承認された。

第5号議案

その他

平成26年度事業計画ならびに事業予算について資料にそって説明する。
その他、議長は議案がないか問うが無かった。

第6号議案

役員改選について（選挙管理委員長 中畑）

現役員（理事）は本定期総会終了をもって任期満了となるため役員（理事）の選挙をする。
全て定員内の立候補であり、全員信任投票により下記のとおり選任する。

理事：中前和則、林 積司、上西啓裕、森本昌信、前 裕充、岩崎正和、池田吉邦、吉富俊行
西川典男、安井常正、南 和幸、松井有史、須賀和明、辻中清晃、永金宣秀

選任された理事は全員就任の承諾をした。

議長団解任

閉会

■役員改選の報告■

選挙管理委員会委員長 中畑 雅行

平成26年5月25日（日）和歌山県立医科大学講堂にて、研修会及び平成26年度定期総会が開催されました。

本年度は任期満了に伴う役員改選ということで立候補受付をしました結果、理事は全て定数以内で全員無投票当選となり、理事会からの推薦2名を含む計15名の先生方が、総会において承認されました。また総会后理事による決議によって、中前先生が会長として選定されました。

中前会長をはじめ新執行部の各先生方、任期期間中大変お忙しいと思われませんが、よろしくお願いいたします。

<新 規 役 員>

【理事】

中前 和則（琴の浦リハビリテーションセンター）	南 和幸（済生会和歌山病院）
林 積司（辻秀輝整形外科）	岩崎 正和（栗原整形外科）
安井 常正（新宮市立医療センター）	須賀 和明（白浜はまゆう病院）
前 裕充（琴の浦リハビリテーションセンター）	松井 有史（和歌山国際厚生学院）
森本 昌信（琴の浦リハビリテーションセンター）	池田 吉邦（介護老人保健施設さくらの丘）
西川 典男（老人保健施設リバティ博愛）	辻中 清晃（和歌山労災病院）⇒理事会推薦
上西 啓裕（和歌山県立医科大学附属病院）	永金 宣秀（公立那賀病院）⇒理事会推薦
吉富 俊行（日本赤十字社和歌山医療センター）	

【監事】

川村 是安（南和歌山医療センター）	浦 正行（稲田病院）
-------------------	------------

※定期総会の中でも訂正させていただきましたが、定款第 27 条第 2 項により、監事の任期はあと 2 年ありますので、今回は理事の役員改選となります。

※選挙管理委員として私、和歌山労災病院の中畑雅行と原野晶先生、琴の浦リハビリテーションセンターの山崎陽平先生が総会で承認されました。

■平成 26 年度第 3 回理事会議事録■

日 時：平成 26 年 5 月 25 日（日） 12:00～12:10

場 所：和歌山県立医科大学 講堂

出席理事：中前 和則、林 積司、上西 啓裕、森本 昌信、前 裕充、岩崎 正和、松井 有史、須賀 和明、池田 吉邦、南 和幸
吉富 俊行、西川 典男、安井 常正、辻中清晃、

出席監事：川村 是安、浦 正行

議 案

第 1 号議案

会長の選出について

本日開催された定期総会の終了をもって、会長の任期満了退任となったので、議場に諮ったところ下記の者が会長に満場一致で選任された。

会長：中前和則

選任された中前和則氏は会長の就任を承諾した。

閉会

福祉・保健局より

福祉保健局長 松井 有史

平成 24 年、25 年度と任期を終え、今年度より新たな気持ちで運営をしていきたいと思います。

福祉保健局では、今年度より「地域包括ケア推進部」を新設致しました。

今後の理学療法士の将来を担う事業ですので、ぜひとも会員の皆様にご協力いただきたくお願い申し上げます。

また、事業報告としましては、今年度初旬に社会局との合同で研修会、広報局と合同でリレーフォーライフジャパン 2014 の運営参加を行いました。本局では 7 月から 11 月にかけて事業が多くございます。地域の皆様と福祉、保健活動を通して理学療法士のつながりを持つよう積極的に事業展開を行う予定です。皆様のご参加お待ちしております。

◇新設「地域包括ケア推進部」より

福祉保健局長 岩崎 正和

今年度より地域包括ケア推進部を発足し、担当となりました岩崎です。「地域包括ケアシステム」とは、2025 年（平成 37 年）を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進するように働きかけを行うシステムです。そのため理学療法士が地域に対して何ができるか？を真剣に問われる時代となりつつあります。我々福祉保健局で新設した地域包括ケア推進部では、地域に対して「理学療法士が必要だ！」と訴えるための事業展開をしていきます。

また厚生労働省から、地域包括ケアシステムを構築するためには、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時にすすめることが重要です。厚生労働省におきましては、これを実現していく手法として「地域ケア会議」を推進しており、今後我々理学療法士も参入できるように活動する所存です。

会員の皆様にご協力を賜ることとなりますが、今後の理学療法士の活動において重要な機会となりますので宜しくお願い申し上げます。

◇「社会局・福祉保健局合同研修会」

介護保険対策部 小橋 信行

このたび、社会局・福祉保健局合同研修会を和歌山県立医科大学にて行われました。はじめに「地域包括ケア構築に向けた国の施策動向とリハ職に期待される役割」と題して、川越 雅弘 氏(国立社会保障・人口問題研究所)から講義があり、今後の理学療法士の動向に皆様真剣なまなざしで講義を聞いてらっしゃいました。

昨今の医療事情より、今後の現状を踏まえ、我々理学療法士が利用者の為に何ができるかを問ういい機会となりました。

当日ご参加頂きました先生方、準備に協力頂きました先生方ありがとうございました。

主 催：公益社団法人 和歌山県理学療法士協会

会 場：和歌山県立医科大学 講堂

参加者数：150 名程度

日 程：平成 26 年 4 月 20 日

内 容：①「地域包括ケア構築に向けた国の施策動向とリハ職に期待される役割」

②平成 26 年度「診療報酬について」 ～診療報酬改定情報～

講 師：①川越 雅弘 氏(国立社会保障・人口問題研究所)

②杉本恵章(社会局 診療報酬身分対策部 部長)



「社会局・福祉保健局合同研修会に参加して」

河西田村病院 大川 直美

平成 26 年 4 月 20 日に和歌山県立医科大学の講堂で社会局・福祉保健局合同研修会に参加いたしました。川越先生から「地域包括ケア構築に向けた国の施策動向とリハ職に期待される役割」という題名で、理学療法士の現状をはじめとし、国の方向性、医療保険領域、介護保険領域、予防領域等、分かりやすいスライドと丁寧な説明で、地域包括ケアシステムでの理学療法士の役割及び大切さを学びました。

杉本先生の診療報酬改定については、私たちが直接関係のあるテーマで、参加された先生方も真剣に聞いていたように思います。

これから、医療・介護制度が変わっていく時代で、理学療法士の役割は何なんだろうと切実に考えるようになり、また今後必要になる地域に根差した理学療法士という考えを持つと思う 1 日でした。

参加させていただきまして、本当に良かったと思います。

◇「リレーフォーライフジャパン 2014 わかやま」事業参加

福祉保健局長 松井 有史

今年初めて参加した福祉保健局の事業になります。広報局と合同で参加しました。「リレーフォーライフ」とは、がん征圧を目指し、がん患者や家族、支援者らが夜通し交代で歩き、勇気と希望を分かち合うチャリティイベントです。世界 20 か国、国内では 40 か所以上で開催され、世界中で毎年 400 万人以上が参加する事業で、今回は和歌山県理学療法士協会、和歌山県作業療法士会、和歌山県言語聴覚士会と協力しブース出展を行いました。ブース出展内容としては、「医療（リハビリテーション）相談」「理学療法事業啓発」とがん患者さんや家族を対象に「リハビリ相談」所を設置しました。

ご協力・ご参加いただきました先生方、ありがとうございました。

主 催：リレーフォーライフジャパン 2014 わかやま実行委員会
日 程：平成26年5月24日（土） 25日（日）
会 場：和歌山公園 砂の丸広場（和歌山城）
内 容：ブースを設けて、医療相談・理学療法士協会事業啓発など
参 加 者：

福祉保健局：岩崎（栗原整形）、岩崎（さくらクリニック）、奈良岡（有田市立）、松井（国際厚生）
広 報 局：吉富（日赤和歌山）、阪口・永春（海南医療センター）



「リレーフォーライフジャパン 2014 わかやま」に参加して

有田市立病院 奈良岡 隆

和歌山城の砂の丸広場で行われましたリレーフォーライフジャパン 2014 わかやまに参加しました。がん征圧を目指し、がん患者や家族、支援者から夜通しトラックを交代で何周も歩くイベントがあると聞き、初めはビックリしました。しかし、参加してみると「がんなんか負けない」「がん患者は24時間戦っている」と強いメッセージを体で受け取ることができました。今回は理学療法士協会、作業療法士会、言語聴覚士会合同で「リハビリ相談」ブースを設けて活動しました。相談に来た方は、腰痛や膝痛などを抱え、生活に支障をきたし、専門職として助言を行うことが出来ました。また、私たちも支援という意味でトラックを何周か歩いてみました。同じように歩く参加者の顔が生き生きとして、こちらとしても元気を分けていただいた気持ちになりました。舞台ではよさこいやライブ、医療講義など多種多様なイベントもありました。我々、理学療法士ががん患者さん、家族の皆さんに何が出来るのか？を考える一日となりました。とても良い経験となり、次回も参加したいと思います。

社会局より

◇第 53 回近畿公衆衛生学会 参加報告

社会局渉外部長 藤野 武英

去る平成 26 年 5 月 22 日(木)10:00～15:30 に、第 53 回近畿公衆衛生学会がホテルアバローム紀の国(分科会)・和歌山県民文化会館小ホール(特別講演)において盛大に開催されました。特別講演として、「健康寿命延伸戦略とデータヘルス計画」と題して、あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下 一代先生によるご講演が行われ、約 400 名余りの医療職や行政職の方々が参加され活発な討論(質疑)なども行われていました。

また、発表・演題数も 108 演題と内容也多岐にわたり、少子高齢化問題・疾病構造の変化・医療制度の改正・大規模災害への対応など新たな公衆衛生の課題が発生しているようです。その中で、高齢化社会への対応に対しての理学療法士の発表もみられました。

我々、理学療法士にも院内感染の問題や超高齢化社会への対応策また認知症などへのアプローチの強化が求められてきています。今後も、我々理学療法士の研究、発表等の推進が出来るよう日頃の学術研鑽をお願いいたします。今回の学会参加者は、藤野武英・井上敦之(済生会和歌山)、多田明恵(南和歌山医療センター)でした。これからも会員の皆様方のご発表と参加ご協力のほどよろしくお願いいたします。



厚生局より

◇第 4 回上富田町身体障害者交流野球大会 報告書

白浜はまゆう病院 森本 信三

平成 26 年 6 月 15 日に、上富田町スポーツセンター野球場で開催されました第 4 回上富田町身体障害者交流野球大会のサポーターとして、白浜はまゆう病院の浅利理学療法士と一緒に参加させて頂きました。3 年前から地元の紀南でこのような大会が行われていることを初めて知りました(主に兵庫県で身体障害者野球大会が開催されているそうです)。大会では、大阪連合チームやヤマト和歌山チーム、上富田町職員チームなど 4 チームが交流試合を行ない、ファインプレーが出ると思わず拍手をしてしまうほど好プレーの連続でした。身体に障害があってもルールはほとんど一



般の野球と同じで、思っていた以上にレベルが高く、また明るく・楽しく・元気よく楽しんでいて、見応えのある大会でした。最後に代打で一打席のチャンスを頂きましたが、見事レフトフライで凡退してしまいました。今回サポーターとして参加させて頂き、暑い一日でしたが大きなケガもなく、無事に大会を終えることができて良かったです。また、来年も参加させて頂きたいと思います。

「障害者スポーツ大会のサポートを行って」

愛徳医療福祉センター 前代 瞳

初めて、障害者スポーツ大会のサポートにつかさせて頂きました。普段、職場で小児リハを行っており、重症心身障害児・者の方や精神運動発達遅滞の方々を治療させて頂いており、関わったことのある方も参加されていたりと、私にとってはとても親近感のわく大会でした。

ですが普段関わっている方達よりも機能が高い方や脳性麻痺の電動車椅子で参加されている方もおり、障害者スポーツと言っても幅の広い大会だと感じました。

私たちは、主に選手の方を待機場所から次の待機場所まで誘導させて頂く仕事でした。選手の方と関わる時間はすごく短いですが、その中でも話かけてくれたり、「緊張していますか？頑張ってくださいね！」などの一言をかけさせて頂く中でも、障害者の方達の元気な声を聞いたり、笑顔がみられたり少し会話をしたりと、みなさんととても生き生きとしていて、私もすごく楽しく元気を頂けました。

こういった大会がある事を知らない方や、障害があるからスポーツを行うことに壁があったり、出来ないと感じていらっしゃる方もいらっしゃるのので、私たち理学療法士がこういった大会などに参加していき、サポートさせて頂くことや、周りの方に勧めていくことを、積極的に行っていければ良いなと感じました。

知的にも運動にも障害があっても、スポーツを一生懸命に取り組み、きらきらと輝いた笑顔で楽しんでいる姿を見て、患者様の事をもっと深く考えていきたいと改めて考えさせて頂く機会となりました。

◇平成 26 年度和歌山県理学療法士協会新人歓迎懇親会報告

福利厚生部長 津村 正臣

平素は厚生局の事業に御協力頂きましてありがとうございます。

去る 5 月 24 日にアバローム紀の国にて平成 26 年度和歌山県理学療法士協会新人歓迎懇親会が行われました。当日は県内各地より新入会の先生 70 名、既会員 83 名の合計 153 名もの多数の参加を頂きました。誠にありがとうございました。

新人の先生方の個性あふれる自己紹介、司会の津村の冴えない進行に関わらず、先生方の御協力のおかげもあり、大盛り上がりの後に終宴となりました。

新人の先生方はいかがだったでしょうか？ 楽しんでいたかったですか？ このようなざくばらんな会を機に、協会活動にもどんどん参加していただければ幸いです。ありがとうございました。



広報局より

ブロック通信

◇「私の生活習慣病予防」

白浜はまゆう病院 森本 信三

今回、初めてブロック通信を寄稿させて頂きます。白浜はまゆう病院の森本信三と申します。今年で臨床 8 年目のまだまだ未熟な理学療法士です。1 年目の時に糖尿病性舞踏病の患者様と出会ってから代謝のことについて勉強し始め、以後日本糖尿病学会年次学術集会などで発表や糖尿病についての執筆、また糖尿病理学療法治療ガイドラインの作成協力員や生活習慣病改善指導士試験評価委員、和歌山県士会の研修会で講師などもさせて頂き、一人の患者様の出会いからたくさんの経験をすることができました。現在では、白浜はまゆう病院健診センターの保健師さんと一緒に特定健診保健指導や健康教室を開催(ヨガや白良浜を歩いたりなど)していることや、白浜地域での介護予防の講師もしています。しかし、2 年程前までは講師で「運動は大事ですよ！！」などと地域の方や患者様に話している自分に定期的な運動習慣が無く、これでは説得力がないじゃないか(〇〇)！！と思い、去年の元旦から走り始めるようになり、年間 4~6 回のマラソン大会に出るようにしています。南部高校で野球をしていた時のボディーを取り戻すため、タイムはあまり気にせず楽しく完走することを目指して走っています(▽▽)。

この一年で一番しんどいけど楽しかったレースは中辺路熊野古道マウンテンランレースです。高低差約 600m の約 18 km のコースで、途中舗装されていない熊野古道を走るレースとなっています。参加者は北海道や愛媛県から参加している人もおり、大阪府や兵庫県から多く参加していました。

ぜひ興味のある方は走ってみてはと思います。花粉症の人は厳しいかも(^;)。

また、白浜はまゆう病院のスタッフが多く参加しているレースは、日置川リバーサイドマラソンや口熊野マラソン、近野山間マラソンに参加しています。SNS で和歌山県士会の多くの先生方もいろんなマラソン大会に参加されている様子を見かけます。ぜひマラソン大会で見かけたら声をかけてくださいね!! いろんな話聞かせてください(^)。

また、糖尿病理学療法や介護予防について、県外の理学療法士と糖尿病理学療法交流会(糖尿病学会・理学療法士協会と関係ありません)などで、情報交換をすることが多くあります。ぜひ、和歌山県士会の先生方とも糖尿病理学療法や介護予防について熱い話をしたいですね(^)v。



地域局より

◇ (旧) 紀北地域局の再編のご案内

(新) 紀北地域局担当理事 永金 宣秀
(新) 和歌山市地域局担当理事 辻中 清晃

会員の皆様には平素より協会活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、近年会員数の増加がめざましく、特に (旧) 紀北地域局は昨年度で 600 名近くの会員数となり、地域局レベルでの会員動向の把握や顔の見える連携をとることが困難な状況にありました。

今後、会員の皆様とより緻密な連携が必要になることなどから、平成 26 年度より (旧) 紀北地域局を 2 分割し、(旧) 第 1 ブロックを (新) 紀北地域局、(旧) 第 2 ブロックを (新) 和歌山市地域局と再編することとなりました。また、和歌山市地域局の第 2 ブロックを地域包括支援センターの圏域を基に 3 分割することとなりました。なお、ブロック別施設は下表のとおりとなります。

会員の皆様には、自身の所属するブロックを確認していただくとともに、今後も協会活動にご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

第2aブロック			第2bブロック			第2cブロック		
地域包括支援センター圏域		施設名	地域包括支援センター圏域		施設名	地域包括支援センター圏域		施設名
第1圏域	加太・西脇・木本・貴志	宇治田循環器科内科	第5圏域	三田・名草・安原・雑賀・雑賀崎・田野・和歌浦	青木整形外科	第7圏域	砂山・吹上・今福・高松・新南・大新・広瀬・芦原	愛徳医療福祉センター
		老健 こすも			稲田病院			今村病院
		クリニックぼぼろ			老健 和歌川苑			古梅記念病院
		西和歌山病院			県立医科大学附属病院			しおや整形外科・リハビリ科
		やなせ整形外科			県立紀北看護学校			須佐病院
		和歌山労災病院			琴の浦リハビリテーションセンター			瀬藤病院
第2圏域	松江・湊・野崎・楠見	老健 エスポワール			山東整形外科肛門科医院			寺下病院
		老健 バインドーム			嶋本脳神経外科・内科			中谷医科歯科病院
		かがやきくらぶ			福外科病院			日赤和歌山医療センター
		河西田村病院			藤民病院			橋本病院
		クリニック三木			老健 かまやま苑			浜田脳神経外科
		中江病院			和歌浦中央病院			三木町寺下整形外科
		ほしの整形外科			紀州リハビリケア			宮本医院
		山口整形外科			老健 光苑	龍神整形外科		
		ゆうゆう福島	老健 光苑ケアセンター	井上病院				
		楠見第3デイサービスセンターすずらん	向陽病院	済生会和歌山病院				
第3圏域	有功・直川・紀伊・山口・川永	誠佑記念病院	高山病院	角谷整形外科病院				
		プライマリ・リハビリセンター和歌山北	デイサービスセンター ピース	角谷リハビリテーション病院				
		まつやま整形外科クリニック	土井整形外科	デイサービス BLISSぶらくり				
		向井病院	中谷病院	堀口記念病院				
		老健 紀伊の里	福祉用具 アイコン	丸山整形外科				
		和歌山国際厚生学院	武用整形外科	県立医科大学サテライト診療所本町				
第4圏域	西和佐・和佐・小倉・西山東・東山東・岡崎	綿貫整形外科	訪看 はやしもと	和歌山生協病院				
		きのしたクリニック	訪看 ハーモニー					
		特養 あんず苑	老健 ラ・エスベランサ					
			宇都宮病院					
						* 1 自宅会員は和歌山市地域局管理とします。		
						* 2 施設表記は順不同		

【中紀発信】

中紀地域局担当理事 西川 典男

日 時：平成 26 年 3 月 18 日（火）19：00～21：00

場 所：国保日高総合病院

内 容：第 4 ブロック新人症例検討会

座 長 石塚 雄基（国保日高総合病院）

- | | |
|--|------------|
| 1 アキレス腱再断裂を呈した一症例 | 北出病院 田口 雄大 |
| 2 多発性骨盤骨折～歩行開始に水治療が役立った一症例～ | 北出病院 木戸 純一 |
| 3 特発性血小板減少性紫斑病による合成副腎皮質ホルモン剤の投与から
個室管理となった症例に対する室内環境設定の重要性 | 北出病院 岡本 茉莉 |
| 4 チームアプローチにより Need に答えた在宅復帰が実現した一例 | 北出病院 濱口 菜実 |
| 5 進行性核上性麻痺を呈し、ADL 動作能力を認めた症例
～ADL 動作能力向上と介護サービスの利用・環境設定・家族の協力を得て自宅復帰した症例～ | 北出病院 木村 嘉希 |

日 時：平成 26 年 3 月 20 日（木）19：00～21：00

場 所：リバティ博愛

内 容：第 4 ブロック新人症例検討会

座 長 宮本 栄一（リバティ博愛）

- | | |
|---|-------------|
| 1 非代償期肝硬変患者に対する薬物・食事療法と併用したリハビリテーションの効果 | 北出病院 吉田 亜佑美 |
| 2 歩行障害患者に対する装具の検討 ～アルコール性多発神経炎患者の一例～ | 北出病院 宮井 淳次 |
| 3 脱水症により意識障害が生じた症例に対する積極的な離床の成果 | 北出病院 田中 希実 |
| 4 ROM 制限を認めた症例に対し、超音波検査を用いて治療プログラムを再検討した一症例 | 北出病院 小柳 亮 |
| 5 下腿切断術後に創部の治癒遅延を呈した症例に対する仮義足の作製 | 北出病院 古川 千里 |

日 時：平成 26 年 3 月 20 日（木）19：00～

場 所：北出病院

内 容：第 4 ブロック新人症例検討会

座 長 西川 典男（リバティ博愛）

- | | |
|---|----------------|
| 1 ADL 低下をきたし再入院された脳卒中患者へのリハビリテーション
～施設入所中における廃用症候群の予防への取り組み～ | 北出病院 高原 誠 |
| 2 殿部と両足部の熱傷により ADL が低下した一症例 | 北出病院 加藤 雄紀 |
| 3 左中大脳動脈閉塞により重度高次脳機能障害を呈する一症例 | 国保日高総合病院 佐々木博史 |
| 4 心因性のふらつき感により外出に困難を呈した一症例 | 老健プラトン 出口 和広 |

日 時：平成 26 年 3 月 20 日（木）19：00～

場 所：辻整形外科

内 容：第 3 ブロック新人症例検討会

座 長 佐野 弘征（辻整形外科）

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| 1 頭部外傷により片麻痺と多動性を呈した症例に対する杖歩行獲得の検討 | さくらクリニック 岡本 尚之 |
| 2 意識レベル向上に伴い、筋緊張と動作の変化に着目した症例 | 済生会有田病院 伊豆 周剛 |
| 3 脳梗塞片マヒを呈し退院が決まってからのアプローチを行った症例 | 恵友病院 辻本 陽介 |

他団体・他士会からのニュース 学術誌の受領報告 (H26.2.28～H.26.6.17)

【ニュース】

(公社)新潟県 No.164	(公社)大分県 No.98(159)
(公社)滋賀県 No.183、No.184	(一社)静岡県 No.143、No.144
(公社)広島県 No.231	(公社)佐賀県 No.97、No.98
(一社)愛知県 No.173	(公社)大阪府 No.242、No.243
(公社)福岡県 No.198	(公社)埼玉県 No.76(117)、No.77(118)
(公社)神奈川県 No.256、No.257	(公社)熊本県 No.114、No.115
(公社)秋田県 No.157、No.158	(公社)鹿児島県 No.54(93)、No.55(94)
(社)長野県 No.46、No.47	(一社)宮崎県 No.11(73)
(一社)兵庫県 No.154	(一社)群馬県 No.117
(社)富山県平成 25 年度 No.4(132)	(一社)京都府 No.260

【学術誌・学会誌・機関誌・記念誌】

(一社)長野県理学療法士会 2013 年度会員所属施設名簿
理学療法兵庫 No.19 2013
社団法人 岐阜県理学療法士会 学術誌第 18 号
和歌山県病院協定会報 平成 26 年 3 月号 No.219
静岡理学療法ジャーナル 第 28 号 (第 18 回 静岡県理学療法士会学会誌)
滋賀県理学療法士会会誌 湖都 第 33 号 2013
訪問リハビリテーションと、訪問看護ステーションからの理学療法士等による訪問の提供実態に関する調査研究事業 調査報告書
和歌山県病院薬剤師会会誌 2013 第 22 号
平成 24 年度 民間非営利団体実態調査報告
理学療法の臨床と研究 No.23 2014 (広島県)
高知県理学療法 第 20 号 2013
アシスティブ・プロダクツ Vol.10 201404
理学療法京都 No.43 2014
障害者スポーツ情報誌 SPORTS Vol.57
和放技雑誌 No.8
第 53 回近畿公衆衛生学会 口演・示説要旨集
和歌山県病院協定会報 平成 26 年 5 月号 No.220
理学療法の科学と研究 (千葉県) 2014 Vol.5 No.1
第 29 回滋賀県理学療法学会 プログラム・抄録集
理学療法研究・長野 第 42 号 2013
理学療法新潟 Vol.17 2014
理学療法沖縄 Vol.15 2013
東日本大震災ボランティア活動記録 リハビリ専門職たちの手記

以上の刊行物をご覧になりたい方は、

事務局、資料調査・管理部の坂本善朗氏（琴の浦リハビリテーションセンター）までお問い合わせ下さい。

■事務局からのお願い■

会員管理部より

会員管理部長 坂口 真啓

所在不明会員が年々増加傾向にあります。異動等がありましたら速やかに申請をお願いいたします。

申請方法は、日本理学療法士協会マイページ (www.japanpt.or.jp/members/procedure-2/) より申請をお願いいたします。

庶務部より

庶務部長 小田 佳亮

施設長名の変更があった場合、速やかに協会庶務宛にFAX またはメールにてご連絡下さい。

協会事務局 FAX : 073-446-1207

メールアドレス : wpt-shom@pt-wakayama.or.jp

記載の内容に関しては、変更前の氏名と変更後の氏名の両方を記載お願いします。

また、フリガナの記載もよろしくお願い致します。

FAX にて送信して頂く場合は文字を大きめで崩さずに記載して頂けるようにお願いします。

編集後記

新入会員の皆様、就職して早3ヶ月が過ぎ、少し仕事にも慣れてきた頃でしょうか。

私たち和歌山県理学療法士協会は会員数1,000名を超えました。数は力となります。

2025年、超高齢化社会が到来します。医療費で国の財政が圧迫されるのを避けるため、入院医療から在宅医療へ大転換しようとしています。また、もっと将来に目を向けると、高齢者の数が減ることは周知の事実です。このままいくと私たち理学療法士の行く末はどうなっているのでしょうか。

一人一人が目の前の患者さんをしっかりみることはもちろんですが、社会情勢に関心を持ち、理学療法士の未来を真剣に考え行動していかなければなりません。

私には小学生の子どもがいますが、その子ども達が理学療法士になりたいと言ったら、胸を張って勧めることのできる職業になっているように努力していきたいと思います。

(上野山 佳男)

公益社団法人 和歌山県理学療法士協会
【事務局】
琴の浦リハビリテーションセンター内
〒641-0014 和歌山市毛見1451
TEL 073(499)5000